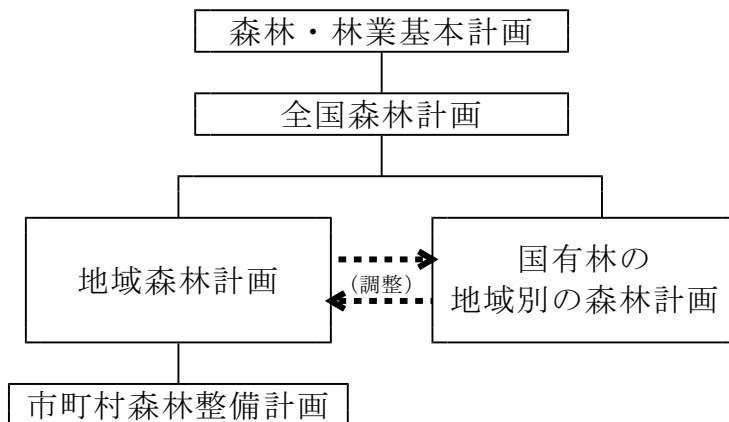


森林の流域管理システムについて

森林の所有形態等のいかんを問わず、民有林・国有林を通じて、森林・林業・木材産業関係者の総意の下に、全国158の流域を基本的単位として、流域の特性に応じた森林整備・林業生産等が行われるよう、

- ① 都道府県知事・森林管理局長が協調しつつ同一区域で同時期にそれぞれの森林計画を樹立し、森林整備等の関係施策を推進するとともに、
- ② 流域内の地方公共団体、森林管理署、森林・林業・木材産業関係者、下流の受益者等の多様な関係者が協議会の開催等を通じて合意形成を図りつつ、森林施業の共同化、上下流協力による森林整備の推進、国産材の安定供給等について、具体的な活動を推進。

森林計画の体系



合意形成の仕組み

流域森林・林業活性化協議会

地方公共団体
森林管理署
森林組合
林業経営者
林業事業者
木材加工・流通事業者
学識経験者等

流域一体の取組

- ・ 森林施業の共同化
- ・ 上下流協力による
森林整備
- ・ 国産材の安定供給
- ・ 林業労働力の確保
- ・ 森林組合体質強化
- ・ 機械化の促進
- ・ 流通加工の合理化

森林の流域管理システムの取組事例

【高知県における「共同施業団地に関する覚書」】

- ・ 国有林と民有林が連携し共同施業団地を設定し、施業の共同化等による効率的な施業を推進するため、四国森林管理局と高知県等の間で平成11年6月に覚書を締結。

＜北川村大谷地区施業モデル団地の事例＞

国有林と民有林が協定により330haの間伐団地を設定し、森林施業や路網整備等を計画的に実施。

(平成11年11月協定締結)



【川上と川下が一体となった産地形成】

- ・ 岩手県の大槌・気仙川流域では、流域内の森林組合、素材生産業者、製材業者等が一体となって、国産スギ集成材工場、プレカット加工施設等を整備し、山元から木材加工施設へ原木を安定供給。
- ・ 所有者に施業の集約化を働きかけるほか、流通の合理化のため山土場から製材工場への原木の直送等に取り組む。
- ・ 森林認証等の取得により、木材の高付加価値化に取り組む。

【水源林の保全に関する森林整備協定の締結】

- ・ 北海道芦別市と空知森林管理署は、平成17年4月に「地域の水田を守る水源林の保全に関する森林整備協定」を締結。
- ・ 市内の国有林を、地域の水田を守る水源林と位置づけ、今後、間伐等の施を計画的に実施することとしている。



【「顔の見える木材による家づくり」】

- ・ 栃木県那珂川流域では、活性化協議会に「木材安定供給部会」を設け、地域材を利用した家づくりを進めるための協議を実施。
- ・ 森林組合、製材業者、設計業者、工務店等からなる「たかはらの家協同組合」、「八溝杉の家協同組合」が設立。
- ・ 活性化センターでは、これらの活動を支援するため、消費者を対象とする木造住宅見学会の開催等のPRを実施。

課 題

- 一部に、民有林・国有林が連携した森林整備や下流側からの森林整備への支援が見られるが、木材価格の低迷等による森林所有者の経営意欲の低下等を背景に、依然として手入れ不十分な森林が存在するなど、流域一体となった森林整備・保全への更なる取組が必要。
- 森林所有の零細性や、生産・流通・加工が依然として小規模・分散・多段階であること等により、合意形成による産地形成が困難化。競争力のある木材企業等へ低コストでかつ安定的に木材を供給していくことが必要。
- 地産地消運動や地域材利用の普及啓発、森林の有する多面的機能のPRなど、幅広く地域住民に連携するような合意形成活動の展開が必要。

今後の方向

流域の特性を踏まえ、次のような課題に対応していくため、関係者の協議・合意形成を推進。

- 低コスト・高効率の作業システムの普及と、経営意欲の低下した所有者への森林施業の働きかけの強化
- 下流側からの支援の充実を図る観点から、企業の社会貢献活動や森林ボランティア活動等の関係者との連携強化
- 民有林・国有林一体となった治山事業と地域レベルの防災計画との密接な連携による流域保全対策
- 原木の安定供給体制の構築や「顔の見える木材での家づくり」の取組等の推進
- 民有林との連携を一層図りつつ、国有林としての先導的・積極的取組を更に展開